

# 大分県PTA連合会 創立60周年 記念式典

# 親の学びが支えた60年



あいさつする池内県P連会長

記念式典で、池内県一県P連会長は「60周年を迎えられたことを会員と喜びたい。10年を顧みて、子どもを取り巻く問題は増加している。ま

## 研鑽をつむ 姿勢が大切

大分県PTA連合会創立60周年記念式典が県全単P会長会を兼ねて、2月6日、広瀬勝貞県知事（代理平野昭副知事）をはじめとする多数の来賓を迎え、県内各地より関係者約320名が出席し、大分市のコンパルホールで開催された。



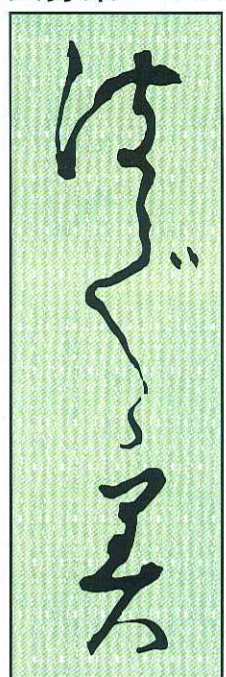
## パネリスト

- 上段左より  
 多田 千栄  
 藤田千克由  
 大分県PTA連合会顧問  
 池内 晴一（竹田地区）  
 大分県PTA連合会会長  
 荷宮 英二（中津地区）  
 宇佐市立安心院中学校PTA会長
- 下段左より  
 松田 美紀（別府地区）  
 別府市立北部中学校PTA会長  
 小林 恭子（大分地区）  
 大分市立旗田中学校PTA副会長  
 岩崎真佐樹（佐伯地区）  
 佐伯市立鶴谷中学校PTA会長  
 7701 ロバート（日田地区）  
 日田市立大山中学校PTA会長  
 敬称略・順不同

## ＜県P連60年のあゆみ＞

- S23年度 県PTA連合会結成
  - 63年度 創立40周年記念式典
  - H10年度 創立50周年記念式典
  - 17年度 16都市PTA連合会となる（23から段階的に合併）
  - 3月臨時総会にて会則改正
  - 18年度 県P全単位P会長研修会を実施
  - 19年度 他日本PTA第52回九州ブロックPTA研究大会大分大会開催。ミュージカル「ここは命の星」を行う
- （主に過去10年間の活動より抜粋）

## 大分県PTA



発行所  
 大分市下郡字長谷496の38  
 大分県教育会館2F  
 大分県PTA連合会  
 ☎(097)556-9055  
 http://www.oita-pta.com/  
 責任者 池内晴一  
 印刷所 大分市金池町5丁目7番18号  
 南大分出版印刷



次に「単P会長として見えてきた子どもの教育について子どもたちに伝えたいおとなの思い」・協育（学校・家

## 熱い思いを 交換し合う

受賞者を代表して利根三喜生第15代県P連会長が謝辞を述べた。

その後、来賓紹介、祝電披露、県P連創立60周年のあゆみの概要報告があり、50周年以降の歴史報告、事務局長6人に感謝状が贈られた。

「親も教師も住んでいる地域行事に参加することが全体の活性化につながる」

「授業参観の時にしゃべりをするなど、親のモラルの低下を感じる。親としての自覚が必要」

「たのしくなければPTAではない。PTAはパットなのしくあつまる」

「役員をして、子どもという時間が削られることもあるが、子どもとの距離は以

「親も教師も住んでいる地域行事に参加することが全体の活性化につながる」

「授業参観の時にしゃべりをするなど、親のモラルの低下を感じる。親としての自覚が必要」

「たのしくなければPTAではない。PTAはパットなのしくあつまる」

「役員をして、子どもという時間が削られることもあるが、子どもとの距離は以

## 平成19・20年度 大分県PTA連合会指定研究発表会

大分市立城南中学校PTA 平成20年12月6日

## 子どもを育てる新たな活動



熱演にわく場内

大分市立城南中学校PTA（生徒数454名、会員数450名）で「PTA活動を活性化し地域教育力を高めよう」PTA組織改善

全員参加の活動をめざして「」を研究主題に公開発表が行われた。

**先輩の声を聞いて 一歩前へ**

午前中は「進路を拓く」をテーマに各学年の進路学習段階別の公開活動を紹介。

1年生の活動内容は「地域の人に職業の話や保護者を講師に迎えて、仕事に対する思いや、その仕事を選んだ理由を聞いた。保護者は「実体験だと子どもの心に素直に入っていくと思う」と語った。

2年生の活動内容は「卒業生に高校生活を聞く会。城南中卒業の高校生が自分の高校の特色や、勉強内容について語った。ある生徒は「先輩の話聞いて、身近に感じることができて不安がなくなった」と感想を話した。

3年生の活動内容は「自分の進路選択への思いを発表する会」。進路決定の時期を迎えた不安や悩みについて、作文を書いて発表し解決策を話し合った。保護者は「子どもの本音が出ているようだ。現実を直視していないようなので、最終決定に向けて親子で話し合いたい」と語った。



くつ作りの奥深さを聞く生徒

午後からはアトラクション

**更なる充実をめざして**

「学校寄り・親寄りという考え方はなく、子どものためというのを常に考えていきたい」

経験から得た知恵や工夫、PTAの一員としての考え方について意見が交わされ、有意義な議論となった。

創立60周年をひとつの節目にさらなる発展を願い、式典は盛会のうちに幕を閉じた。

「学校寄り・親寄りという考え方はなく、子どものためというのを常に考えていきたい」

経験から得た知恵や工夫、PTAの一員としての考え方について意見が交わされ、有意義な議論となった。

創立60周年をひとつの節目にさらなる発展を願い、式典は盛会のうちに幕を閉じた。

各専門部からは実践活動報告があった。生徒会執行部との「城南中の未来を語る会」での意見交換。校区学校関係団体で組織された、城南ネットワーク会議。広報部・学年部が中心となり、学級新聞を作りコントロールを行ったことが発表された。

根本県教育庁生涯学習課主任社会教育主事は「地域と子どもとのつながりを強く感じた。組織の再編、事業の見直しはこのPTAでもさけて通れないが、真剣に取り組んでいる。これからも、連携して、活動を続けてほしい」と指導講評した。

## 研心北

▼一年の計は元旦にあり  
 もし今年の夢や目標を一文で表わすとしたらあなたは？  
 私は攻。攻は武力で攻めると言論で攻めるの意があるが、勿論私は後者。でも相手を論破することではなく侃侃諤諤主張しあってこそ真の理解が得られ成長発展が得られると思う▼以下、年末年始の新聞記事から。（大会に）入る前から2度跳びたいと思っていたし、攻める気持ち忘れないうのが目標だったので「浅田真央（GPファイナルで3回転半ジャンプを決めて優勝）」もう少し攻めていけば勝っていたのに。詰めの甘さがた「上野順恵（嘉納杯で二位になって）」では大会（WBC）に臨むのに最も大事なことは？「姿勢だと思えます。守るではなく、奪いにいく。この差は大きい」

「イチロー」▼昨年わが国民を明るく日本人であることを楽しませてくれた、石川遼、北島康介、太田雄貴もその持ち前の強い心で攻めた結果である。自分で努力を重ね、他人に負ける筈はないという自信に裏付けられた「攻め」の姿勢があったからと思う。何ごとも一歩前への姿勢は周囲の人に勇気と希望を与える。例えば牛歩であっても力強い攻めの歩々でありたい▼おわりに、「県民あげての取り組みは、夢や希望に向かって挑戦し、「やればできる」という自信につながるもの」

「広瀬勝貞知事。（第4回県議会でおおいた団体・おおいた大会を総括して）「5年以内に日本一になる」（社長就任時宣言）「悪い時こそ攻めに出る」という、超攻撃的姿勢でナビスコ杯優勝」

「溝畑宏次郎」社長。攻めの結果による明るいニュースの年にしたい。

# 研究大会竹田地区大会

# 共有の体験



全体会で祝辞を述べる広瀬勝貞県知事

第17回大分県PTA研究大会竹田地区大会が1月24日(土)開催され、県下より関係者約1100名が参加。

「変わりゆく社会に夢と希望を育むPTA活動を創り上げよう」を研究主題に、「親子で学ぶ心の絆!背を見て感じる子どもの未来!」のスローガンのもと、竹田市文化会館と他4会場で行われた。午前中の全体会に続いて午後からは各会場に分かれ、活発な討議がなされた。

## 全体会

開会式で池内晴一県PTA連合会長は「社会環境が大きく変貌を遂げようとしている。子どもたちのために、研修会やPTA関連の大会に参加し、諸課題に真剣に取り組んでいこう」と述べた。

続いて、衛藤勝志実行委員長があいさつし、来賓の祝辞へと移った。

広瀬勝貞県知事は、県教委

汚職事件を陳謝し「学力・体力テストの情報共有し、現状を知り改善していくことが大事だ。子どもが社会の一員となれるように道徳・倫理を学ばせることが必要である。この大会で、教育の大切さについて学んでほしい」と述べた。

今大会のアトラクションとして、ブルーフェニックス・ジュニアバンドのジャズ演奏、清川小・中学校の児童生徒による「清川子ども神楽」が披露され、会場から温かい拍手が贈られた。

高橋史朗明星大学教授が「親学」について記念講演を行い午前中の日程は終了した。次期大会は中津地区で開催される。

## 第1分科会 教育問題(小学校) 親子と地域の架け橋をめざして

「社会の変化に対応したPTA活動について」をテーマに約110名が参加して、討議が行われた。

枝木東海由布市立扶間小学校PTA会長は「親子で環境を考えるファミリアPTAの開催」と題し発表。「子どもたちが由布市学校版環境ISOを取得し活動している。PTAも環境について親子で考えてもらう機会として、MOTAINAI体験を通して地球に優しいエコの達人になろう」をテーマにファミリアPTAを開催。6年間に渡って、各学年に応じた活動をしている。また、専門部の

### 地域環境に 欠かせない「一体化」

後藤禮子竹田市立竹田小学校校長は「PTAの本質的なねらいと照らし合わせると、目標を決め推進しているところがとても評価できる。今後地域と一緒にPTA活動を展開できると良いと思う」と指導助言した。

## 第2分科会 教育問題(中学校) 三者のつながりで 活動を広げる

「社会の変化に対応したPTA活動について」をテーマに約140名が参加し討議。

甲斐浩二豊後高田市立河内中学校PTA会長は「生きる力」を育むPTA活動「河内教育支援センターと連携して」と題し発表。「学区の弾力的運用などによる生徒数減少に不安を感じ、平成16年に家庭・学校・地域が参加し「河内教育支援センター」を発足。PTAと連携して、懇談会や講演、地域の方に学習サポートとして茶道やギターを指導してもらおうなど、保護者・地域を取り込んだ活動をしている。また活動の様子を広報し啓発活動に努めている。連携の輪を広げ、地域の教育力を高めていきたい」と報告した。

御雅章中津市立沖代小学校PTA会長は「地域社会とのつながりを大切にするPTA活動」と題し発表。「地域の転入転出が多いため、交流がとりづらい。新入住民と地元住民の連携、保護者・学校・地域をつなげ、同じ視点で子どもたちを育てる「協育」を目指し「沖小まつり」を開催。地域の方の手作りおもちゃの製作(販売と遊び方の指導)ひよっここ踊りの指導。5年生が育てたもち米(自治委員の農業支援)の販売をし、その益金で車椅子などを購入、地域へ恩返しとして贈っている。疎遠になりがちな地域環境だが、まつりによって一体化につながっている。また、地域安全への取り組みにも効果が見られている」と報告した。

テーマが共通するため、両PTA同時に行われた討議で

### 体験活動で 交流を深める

長森一道臼杵市立南中学校PTA会長は「地域社会とのつながりを大切にするPTA活動の輪を広げ、地域の教育力を高めていきたい」と題し発表。

高橋一成県教育庁生涯学習課主任社会教育主事は「A」行動。B「元」になる。C「つ」なかり。PTAにこのABCを期待する。色々な世代との交流の場が作られていて感心した」と指導助言した。

## 第3分科会 家庭教育 家族の絆を深め 豊かな心を

「子どもを取り巻く諸問題に対して家庭の役割はどうあるべきか」をテーマに討議。約110名が参加した。

田中慎二津久見市立青江小学校PTA副会長は「えがおがやくPTA活動をめざして」家族の絆を深めることを



会場には多くの参加者

「子どもを取り巻く諸問題に対して家庭の役割はどうあるべきか」をテーマに討議。約110名が参加した。

田中慎二津久見市立青江小学校PTA副会長は「えがおがやくPTA活動をめざして」家族の絆を深めることを



今年は1年生の担任をします。急がんと。みんな席に着いて」と、席に着いていない友だちに声を掛けていきます。そして、私が教室の扉を開けると、みんなが「先生見て!ちゃんと席に着いてるよ」とばかりに自慢気にニコニコしながらこちらを見ます。私は「みんなえらい。ちゃんと座ってるね」と、子どもたちを褒めずにはいられません。半年で、自分たちで声を掛け合って、席に着こうとする子どもたちの成長が嬉しい今日この頃です。

臼杵市立海辺小学校 教諭 伊東 佳子

## 席に着かんと

夫。ふれあいのきっかけ作りや愛されているという意識づけができた」と報告した。

討議では、子どもに対する家庭や父親の関わり方について協議。「同じ趣味を持つことで会話が広がった」「おやじの会であいさつ運動をしている」など活発な意見が出た。

後藤宏二豊後大野市立大銅中学校校長は「ワントライを親子の絆と解釈したことがよい。辛い事も親子で経験し、長い目で見た評価が財産になる。永楽悦子県教育庁生涯学習課主任社会教育主事は「具体的な取り組みで見えるカードの形にしたのがよく、動機付けになったと思う。子どもに耳を傾け思いを受け止める姿勢が必要」と指導助言した。

次に、工藤正蔵竹田市立直入中学校PTA会長は「親子の絆を深めるPTA活動ふれあ

### たくましさ 自立を育てる

次に、工藤正蔵竹田市立直入中学校PTA会長は「親子の絆を深めるPTA活動ふれあ

第17回大分県PTA

心をむすぶ

点めつだ 一度止まって 次の青

記念講演 (講演要旨)

子どもとの心のキャッチボール ～「親学」のすすめ～



高橋 史朗 (明星大学教授)

親が変われば 子どもが変わる
学力、体力の土台は家庭にあり、基本的
生活習慣と関係が深い。今、子どもたちの
睡眠時間、食生活が乱れ始めている。少年
による凶悪事件が相次いでいる。子どもの
幸せの原点は何かを考え、自分以外の何か
に責任転嫁するのではなく、子どもを変え
るのではなく、親自身が変えることが大事。
しっかりと抱いて下におろして歩かせる。
授乳中、携帯メールをする母親が増加。
そこに親子の一体感はなく共感性が育たな
い。対人関係能力が欠如する。「為らぬも
のは為らぬもの」と親が教えていないため
に誤った子ども中心主義となり子どもは自
立できない。自己制御能力が欠如する。子
育では母港から少しずつ遠洋航海できるよ
うに導いていく営み。無条件の愛情と信頼
まずはしっかりと抱きしめてから自立させ
ていく。

大人のはたらきかけによって育つ

日の出や日の入りを見たことがない、星
を見ても感動できないなど自然体験が希薄

7071-ル

兵庫県出身。早稲田大学大学院修了。
現在、親学推進協会理事長、師範塾理事長、
玉川大学大学院講師。

第4分科会 健全育成と地域活動
地域のよさを
生かした連携



アトラクション



凛凛しい表情で美しく舞う

「地域と連携した健全育成
はどうあればよいか」をテー
マに約180名が参加し討議。
後藤いずみ竹田市立南部小
学校P会長は「健全育成に向
けて、地域と連携したPTA
活動」と題し発表。「地域と
め期間を設けて交流」がある。

老人ホーム訪問や姪だるまの
工房見学、ふれあい授業など
を行っている。地域の方を講
師に迎えたふれあい授業は、
一般にも公開。よい交流の機
会となっていると報告した。

話し合いの場から
活動の場へ

次に、渡邊周三佐伯市立鶴
見中学校P会長は「校区ネッ
トワーク会議を通じた地域と
の連携による健全育成」と題
し発表。「親子ふれあい作業

やあいさつ運動、親の働く職
場での体験学習などを行って
いる。さらに3年前には、家
庭・学校・地域が協働した子
育てを推進するため、鶴見地
域校区ネットワーク会議が組
織された。校区内の8つの団
体・組織より24名で構成。健
全育成という共通の思いを持
って、各団体の活動や課題な
どの情報を共有している。今
後は、さらに情報交換の場を
増やし、連携を深めながら活
動していきたいと報告した。

第5分科会 健康・安全
専門部の活動に
食育推進の視点を

「子どもの心とからだの健
康・安全はどうあるべきか」
をテーマに約370名が参加。
志賀都天竹田市立久住小学
校P会長は「いきいき元氣い
っぱい久住っ子」の育成と家
庭と学校が連携した食育の推
進」と題し発表。「毎年行
われている専門部の活動に、
食育推進を心がけた内容を取
り入れて実践。講演会やおや
つ作りで食の大切さを学び学
校給食を通して関心を高め
た。そこで提起されたことを
学校での給食指導につなげ、
学級懇談や広報紙で浸透させ
た。活動のねらいを明確にし
たことで各専門部の活動が連

討議では、職場体験学習を
通じての親子の活動状況や、
ネットワーク会議としての連
携について、質問が出た。
多田千栄県教育庁生涯学習
課社会教育主事は「限られた
人数の中でも活動がよくでき
ている。子どもに親の働く姿
を見せられるというのはすば
らしいこと。ぜひ継続してほ
しい。校区ネットワーク会議
の活動は、今ある地域や学校
の行事に重ねていくとさらに
深まる」と指導助言した。

第6分科会 人権教育
人権の芽 家庭で育て
地域につなげ

「家庭や地域で実践できる
人権教育はどうあればよい
か」をテーマに約230名が
参加し討議した。
大津哲郎竹田市立明治小学
校P副会長は「自他を思いや
る心を育むPTA活動」「友
情の芽」行事を通して人権意
識を育む」と題し発表。「視
覚や聴覚の不自由な子どもた
ちとの交流を56年間続けてい
る。明治地区に生息する虫を
通じての交流はただ虫を贈る
だけではなく、歌やゲーム、
手話など児童の間でさまざま
な取り組みが行われ、相手を
思いやりながら、自然なふれ
あいができている。親子で学
ぶ人権学習会として視覚障が
い者の方を講師に招いたり、
盲導犬と歩いたり、理解を深
める学習を行っている。互い

討議では「子どもが作った
野菜を給食に取り入れてい
る」「地元産物を給食へ」な
どの意見交換が行われた。
伊藤京子県教育庁生涯学習
課指導主事は「今までやって
きた活動を基礎にしたことで
負担がかからない方策になっ
ている点が良い。食べて体を
つくり、感受性を育てる心の
栄養として食育を進めていく
ことは大切」と指導助言した。

多くの地域の方も参加する行
事として継続。保護者と先生
の熱心に取り組む姿を見た
ことで、生徒の行動や学校生
活が落ち着いてきた。学年を
越えた生徒間のつながりも深
まり、協調性や団結力を身に
つけている」と報告した。
討議では、院内中と同様に
落ち着いた学校環境を取り戻
すため「あいさつ運動をして
いる」「保護者が当番で授業
態度を見に行く」と取り組み
について意見が交わされた。

家庭がはぐくむ
人権感覚

次に後藤祐司豊後大野市立
大野中学校P会長は「親が学
ばず子どもも学び、子どもが

学べば親も学ぶ人権学習。人
権について学ぶ子どもたちを
保護者としていかにサポート
するか」と題し発表。「2
年生が総合的な学習の時間や
社会科で取り組んだ「ミナマ
タ現地学習」に保護者も加わ
り現地を訪ねるとも学んだ。
文化祭では6年前からエイズ
やハンセン病など人権をテー
マにした学年劇を行ってい
る。またHIV訴訟団の弁護
士や川田龍平氏を招いての講
演会を開き、保護者も参加。
子どもと一緒に理解を深めて
いる」と発表した。
討議では「保護者が子ども
から学ぶ姿勢も大切」など活
発な意見交換が続いた。
鎌手勝公県教育庁人権・同
和教育課主幹兼指導主事は
「保護者が子どもの学びを支
援する取り組みはすばらしい。
家庭は小さな社会。互いの
人権を尊重できる家庭づく
り、人権教育で大切」と指導
助言した。



あいさつする小野教育審議監

# 平成20年度 教育問題懇談会

## 教育を取り巻く問題の共通理解を

県P連では、毎年各郡市P連より出された教育行政への要望事項を県教委に示し、教育問題の解消に努めている。今年度は平成20年11月19日、大分県教育会館において開催された。県教委からは小野二生教育審議監をはじめ関係各課より13名、県P連からは、池内晴一郎P連会長他副会長・理事ら20名が出席。要望ごとに回答をいただいた後、本年度は約70分間に渡り質疑応答の時間を確保し熱心な話し合いが行われた。

始めに、小野二生教育審議監があいさつの中で、一連の教員採用試験などに関わる問題について陳謝。「今後二度とこのようなことが起きないように、教員採用試験の見直し、教職員人事管理の見直し、組織の見直しの3本柱からなる改善策について取り組みを進めている。また、今後裁判等の問題もあるのではという状況を見極めながら取り組んでいる」と説明があった。

・全学年30人学級の実現、20人下限枠外について  
本年より中1の30人学級を実現。他学年への拡大については、これまで通り成果を検証しながら進めたい。20人下限枠については、児童生徒の社会性や協調性を養う上で、一定規模の生活集団が必要であるという教育的観点から決定している。当該学級には非常勤講師を配置するなどきめ細かな指導に当たっている。

・「いじめ」や「不登校」の実態とその対策について  
19年度のいじめの認知件数は、小学校1907件、中学校1021件、高等学校186件、特別支援学校3件。各学校において、いじめの早期発見・早期対応といじめを許さない学校づくりを進めている。

・中学校の免許外教科担任の解消、事務職員、養護教諭の全校配置について  
免許外教科担任の解消については、県独自で標準2学級以上の中学校4校、標準3学級及び5学級以上の中学校22校にそれぞれ1名の26名を配置している。今後も現行制度の維持に努めていく。

・複式学級の完全解消について  
平成5年度から国の標準を緩和した単独措置による複式学級編成基準を設けており、今後も現行制度の維持に努めていく。昨年度からへき地にあって2複式学級編成の学校で子どもが10人以上の学級に配置している(今年度は7校に7名配置)。

・「いじめ」や「不登校」の実態とその対策について  
19年度のいじめの認知件数は、小学校1907件、中学校1021件、高等学校186件、特別支援学校3件。各学校において、いじめの早期発見・早期対応といじめを許さない学校づくりを進めている。

・中体連への参加について  
中学校体育連盟という組織そのものが、学校体育の組織として動いているので、組織的に異なるスポーツクラブの生徒の参加は今のところ難しい。種目等によっては、人数の足りない場合は、複数の学校でチームを編成して試合に参加することを認めるという

・「いじめ」や「不登校」の実態とその対策について  
19年度のいじめの認知件数は、小学校1907件、中学校1021件、高等学校186件、特別支援学校3件。各学校において、いじめの早期発見・早期対応といじめを許さない学校づくりを進めている。

・「いじめ」や「不登校」の実態とその対策について  
19年度のいじめの認知件数は、小学校1907件、中学校1021件、高等学校186件、特別支援学校3件。各学校において、いじめの早期発見・早期対応といじめを許さない学校づくりを進めている。

### 一人ひとりとつなぐ大切な

## 三井住友海上 MSIG

あなたのすべてを守りたい。

- 賠償責任保険
- 自動車保険
- 火災保険
- ケガの保険
- ゴルフ保険
- 旅行旅行保険
- 国内旅行傷害
- 積立保険
- 住まいの保険
- 賠償責任保険
- 子ども保険

保険のことなら三井住友海上代理店まで。

### 1年間のあゆみを募集中

## 第32回大分県PTA 広報紙コンクール

締切 平成21年3月24日(火)  
審査日 平成21年4月2日(木)  
表彰式 平成21年4月16日(木)

応募対象：県下の小・中・特別支援学校PTAで年3回以上定期発行した広報紙(号外を除く)  
(平成20年4月から平成21年3月発行分)  
審査対象は小学校と中学校の2部門とする。

「第32回大分県PTA広報紙コンクール出品について」は各学校PTAにお送りしています。  
たくさんのご応募をお待ちしています

### 子育てにつながる活動を

## 母親部会

母親部会では、家庭教育問題、食育、情報交換などを主体に取り組んでいますが、今年度は大分県教育委員会生涯学習課社会教育主事・多田千栄先生を講師にお迎えして、県教委より発行された「親学のすすめ」読本の活用研修会を開催しました。家庭教育力の低下が叫ばれている昨今、親として、大人としての公共心や役割など自分を見つめ直す良い機会になりました。

情報交換では、郡市間で交流活動を行った実践報告や、各郡市の実情にあったタイムリーな活動を積極的に行って

母親部長 河野 美幸

### 親から子に伝える...

## 菱餅(ひしもち)

ひな祭り(桃の節句)に供えられる、三色のひし形の御餅。

下から白、緑、ピンクと三色に積み上げられていますが、それぞれが雪、芽吹き、花を表現しており冬から春への移り変わりを表現しています。

また、菱餅は(白は菱の実、緑は母子草または蓬、ピンクは桃の花)薬草で色づけされており、母から子へ民間療法の知識を伝える役割もあったと言われています。

### 平成21年度の任意保険の募集が始まります。

3月1日より

《申込期間》4/1加入：3月1日～3月31日  
中途加入：4月1日～5月15日  
《補償期間》1年間  
《保険の種類と保険料》  
自転車補償(自転車総合保険) 930円  
育英補償(子ども総合保険) 4,900円

是非、この機会にご加入ください。  
19年度に自転車補償(3年間)に加入された方は21年度まで有効です。

保険請求先 トータルアシスト(代理店) 0120-112-357  
制度問合せ先 大分県PTA連合会事務局 097-556-9055

### 反抗期 どう接したらいいの?

## みんなでがらがえるコーナー

ひとりぼっちで育つ子ども

### 親から子に伝える...

## 菱餅(ひしもち)

ひな祭り(桃の節句)に供えられる、三色のひし形の御餅。

下から白、緑、ピンクと三色に積み上げられていますが、それぞれが雪、芽吹き、花を表現しており冬から春への移り変わりを表現しています。

また、菱餅は(白は菱の実、緑は母子草または蓬、ピンクは桃の花)薬草で色づけされており、母から子へ民間療法の知識を伝える役割もあったと言われています。

### ご意見・ご感想をお待ちしています

※県P連ホームページアドレス  
<http://www.oita-pta.com/>  
随時更新中。是非アクセスしてください。

### 反抗期 どう接したらいいの?

## みんなでがらがえるコーナー

ひとりぼっちで育つ子ども

開散とした食堂で、注文の品を待つ間、近くに居たクリクリ目の乳児(後でわかったことですが、3ヶ月)を相手に、かわいらしさを楽しんでいる老夫婦の姿が目にとまりました。しばらくあやしむ続けていたのですが、食事が運ばれてきたので、乳児はひとりぼっちにされてしまいました。

一方、若夫婦は、メニューを手に、夫と注文の話に集中しているようでした。

そのうち、「ワー、アー」という乳母車の子の音が聞こえてきました。それは、何かを訴える声に感じられ、気になりました。足をパタパタ、テーブルクロスを小さな

### 編集後記

野鳥が庭の金柑をついばむ。その様子を娘と縁側で見ながら日なたぼっこ。幸せなひととき。

▼県大会、60周年記念式典で参加者の熱意を感じ、私もがんばろう!とたくさんの方の元気をいただきました。

▼外を歩くと、冷たい風の中にも陽射しの暖かさを感じる。卒業式の練習も始まったようだ。春はもうすぐ。

▼10年の歴史がまさに自分のP活動と重なる。多くの人と知り合えたことが一番の財産。

### 県P情報

日中友好「少年少女の翼」  
(社)日本PTA全国協議会主催

訪問先 中国・北京

日程 平成21年3月27日(金)～3月31日(火)  
(4泊5日)

参加者 豊後高田市立真玉中学校 瀬口 愛美さん(2年生) 竹田市立南部中学校 後藤 優太さん(2年生)

### 反抗期 どう接したらいいの?

## みんなでがらがえるコーナー

ひとりぼっちで育つ子ども

若夫婦には、日常的な振る舞いに映っているのでしょうか。しかし、この時期の子どもに対するこのかわりがこれだよのかと、今後のことを思うと、深く考えさせられる光景でした。

みんなで考えるコーナー室長 岩尾 淳一